

今月の御教え

年寄を大切にせよ。人間は自分の考えで先に生まれてきたのではない。みな、神のおかげで生まれてきたので、早く生まれたものほど世のために働きをたくさんしておる道理であるから、年寄りを敬うのぞ。若い者でも役に立つ人は何となく人が敬うようになるが、不都合、不行き届きが重なれば、敬うてくれぬようになる。信心するものは、ようこころがけておるがよい。

…金光教祖御理解 第八十節…

解説 『年長者を敬う』『年寄を大切にする』ということは古今、東西にわたり言われていることではありますが、

教祖金光大神様は、その根柢を『人間は自分の考えで先に生れてきたのではない。みな、神のおかげで生まれてきたのである』としておられるところが着目される所です。正にわれわれ人間は大いなる天地宇宙を司る親神様に命を与えられこの世に生れ出たのであり、生死を通して親神様の庇護を頂けることをここでも明示されておられるのであります。

故に、「神のおかげで早く生まれてきた者を、大切にすること」が道理であります。

なお、『若い者でも人の役に立つ人は人に敬われるが、不都合、不行き届きが重なれば敬われなくなる』との御教えで思い出されるのは、西条教会初代大先生のお言葉と伝え聞く「男女関係と金銭問題をおろそかにしなければ神様からも人様からも信任して頂ける」との教えであります。

信心するもの大切な心得として『年長者を大切にすること』『わが身を律し慎む』ことをお示し下さっているのであります。